

# 競技注意事項

- ・本大会は、2021年度（財）日本陸上競技連盟競技規則と本大会要項により実施する。
- ・招集所は北用具庫前付近に設置する。
- ・トラック種目に出場する競技者は、競技開始の20分前までに招集所の所定の用紙の自分の番号を○で囲み、それぞれの競技場所で最終点呼を受ける。
- ・800m以上の長距離種目では、腰ナンバーカードを使用する。また、3000mについては、同時に胸ナンバーカードも使用する。腰・胸ナンバーカードについては、招集所で受け取り、ゴール後に付近に置いてあるカゴの中に返却すること。
- ・フィールド競技は競技開始時刻40分前より、現地での練習を可し、競技開始の10分前に現地で点呼をおこなう。
- ・トラックレースはすべてタイムレース決勝で行う。同タイムの場合、1000分の1秒まで写真判定を行うが、それでも同タイムの場合は同順位とする。
- ・走幅跳と砲丸投は3回の試技をおこなった後、記録の上位8人がさらに3回の試技をおこない順位を決定する。
- ・走高跳は、連続する3回の試技失敗により競技終了とする。
- ・トラック競技はタイムレースにより上位16人が、フィールド競技は3回の試技で上位16人が、県大会への出場権を得ることとする。すべての種目において同記録多数のため16人を越える場合は、この限りではない。
- ・競技者は胸と背中にアスリートビブス（登録番号）をつけること。ただし、走幅跳・走高跳に出場の競技者は、胸側だけでもよい。
- ・走高跳のバーの上げかたは、下記によるものとする。  
男子 1m30-1m35・・・1m60-1m65-1m70 以後3cm  
女子 1m10-1m15・・・1m35-1m40-1m45 以後3cm  
優勝決定のためのバーの上げ下げは、2cmとする。
- ・リレーに出場するチームは、競技開始1時間前までにオーダー用紙を本部に提出すること。
- ・スパイクのピンは土用ではなく7mm以下のオールウェザー用のものを使うこと。
- ・競技で使用するシューズの底の厚さは、以下の範囲とし、現地での招集時に点検する。

種目	シューズの底の厚さ
800m未満の競技（ハードル含）	20mm以内
800m以上の競技	25mm以内
跳躍・投擲競技	20mm以内（前部が踵より厚くなってはいけない）

※フィールド競技については計測しないが、国内でのみ通用する記録として取り扱う。

（日本陸連の通達より）

- ・スタートは英語コールで行い、1回目の不正スタートで失格となる。
- ・スタート時の不適切行為に関しては、スタート審判長により警告（イエローカード）を与えられることがあ

る。同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格（レッドカード）とする。本競技会では累積しない。

- ・学校対抗の得点として各種目の順位に応じ、1位9点、2位7点、3位6点・・・8位1点を与える。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため記録の掲示は行わない。各校ごとに分けられたカゴにある記録用紙で確認すること。
- ・本競技会に関わるすべての人に対し、競技中に発生した傷病・疾病について、傷害保険の加入範囲および現場での応急処置は行うが、それ以降は各自の責任で行うこと。  
なお、競技会に関するすべての人の感染に対するいかなる責任を、主催者は一切負わない。
- ・健康状況チェックリストに記入した個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡のみ利用し、個人情報保護法の法令において認められた場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供しない。ただし、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある者が発見された場合、必要な範囲で保健所・医療機関等に提供することがある。
- ・取得した個人情報は、大会終了後少なくとも1ヶ月以上保管する。保管期間を過ぎた当該情報は、適正かつ速やかに破棄を行うとともに、破棄した証を保管する。

**各校でゴミ等の片づけを、責任をもって行い、会場使用のマナーを守ること。**